

第1学年 国語			単元のまとまりの評価規準		
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
はるが きた	2	◎互いの話に関心をもつことができる。(思・判・表A(1)オ) ・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ■絵を見て話したり応答したりする。 ☆学校生活(生活科)	言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア)	「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもっている。(A(1)オ)	すすんで友達の話に関心をもち、これまでの経験をいかして話したり応答したりしようとしている。
おはなし ききたいな	2	◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ) ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ■読み聞かせを聞いて楽しむ。	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)エ)	「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ)	これまでの経験をいかし、積極的にいろいろな本を手に取り、読み聞かせを楽しもうとしている。
なんて いおうかな	2	◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うことができる。(知・技(1)キ) ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ) ■場面に応じた言葉や動作を考えて、伝え合う。 ☆先生や友達などの多くの人と親しみをもって関わって学校生活を楽しむことや、場に応じた挨拶に関わる題材(道徳)	丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使っている。((1)キ)	・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。(A(1)ウ)	経験を基に積極的に言うことを考え、学習課題に沿って自分の考えを伝えようとしている。
かく こと たのしいな	1	◎平仮名を読み、書くことができる。(知・技(1)ウ) ・姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書くことができる。(知・技(3)ウ) ■正しい姿勢や鉛筆の持ち方を意識して書く。 ☆正しい姿勢や鉛筆の持ち方(書写)	・平仮名を読み、書いている。((1)ウ) ・姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書いている。(3)ウ)		正しい姿勢や鉛筆の持ち方で書くことに粘り強く取り組み、自分なりに、字を書く際に気をつけたいことを見つけようとしている。
どうぞ よろしく	3	◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ○経験したことから書くことを見つけ、伝えたい事柄を明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うことができる。(知・技(1)キ) ■名前カードを使って、友達と交流する。 ☆互いを知り、新しい仲間をつくる題材。(生活科) ☆好きなものの絵を描く。(図画工作科)	丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使っている。((1)キ)	・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「書くこと」において、経験したことから書くことを見つけ、伝えたい事柄を明確にしている。(B(1)ア)	これまでの経験をいかし、積極的に自分の名前を書いたり好きなものを考えたりし、友達と交流しようとしている。
こんな もの みつけたよ	2	◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うことができる。(知・技(1)キ) ■見つけたものや思ったことを友達に紹介する。 ☆学校探検(生活科)	丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使っている。((1)キ)	「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア)	紹介したい事柄を積極的に選び、学習課題に沿って見つけたものをより分かりやすく紹介しようとしている。
うたに あわせて あい うえお	2	◎姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。(知・技(1)イ) ○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。(知・技(3)イ) ■音読する。 ■正しい筆順で文字を書く。 ☆歌を通して正しい発声を身につける題材。(音楽)	・姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。((1)イ) ・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。(3)イ)		すすんで姿勢や口形、発声や発音に注意し、学習課題に沿って音読しようとしている。

第1学年 国語			
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
			知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
こえに だして よもう	1	◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ■詩を音読する。 ■想像を広げながら詩を読む。	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(1)ク) 「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ)
よく きいて、はなそう	2	◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。(思・判・表A(1)エ) ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ) ■応答したり、感想を伝えたりする。	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。(A(1)ウ) ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A(1)エ)
ことばを さがそう	2	◎音節と文字との関係に気づくことができる。(知・技(1)イ) ◎身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。(知・技(3)イ) ■言葉集めをする。	・音節と文字との関係に気づいている。(1)イ) ・身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。(1)オ) ・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。(3)イ)
はなの みち	6	◎語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ■想像を広げながら物語を読む。 ■物語の音読をする。 ☆動植物や自然に親しむことに関わる題材。(道徳)	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(1)ク) 「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ)
としょかんへ いこう	2	◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ) ■学校図書館で好きな本を選んで読書に親しむ。	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)エ)
かきと かぎ	2	◎平仮名を読み、書くことができる。(知・技(1)ウ)	平仮名を読み、書いている。(1)ウ)
ぶんを つくろう	4	◎文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○句点の打ち方を理解して文の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○語と語の続き方に注意することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■主語と述語を意識して文を書く。	・句点の打ち方を理解して文の中で使っている。(1)ウ) ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。(1)カ)
ねこと ねっこ	2	◎促音の表記、助詞の「は」の使い方、句読点の打ち方を理解し、文の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ・語と語の続き方に注意することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■促音や半濁音のある言葉を使って文を書く。	促音の表記、助詞の「は」の使い方、句読点の打ち方を理解し、文の中で使っている。(1)ウ) 「書くこと」において、語と語の続き方に注意している。(B(1)ウ)

第1学年 国語			
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
			知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
わけを はなそう	2	◎相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。(思・判・表A(1)イ) ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ■感じ方とそのわけを話す。 ☆わけを説明する題材。(生活科・算数)	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいく。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えていく。(A(1)イ)
おばさんとおばあさん	2	◎長音の表記、助詞の「を」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ・語と語の続き方に注意することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■長音のある言葉を使って文を書く。	長音の表記、助詞の「を」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使っている。(1)ウ) 「書くこと」において、語と語の続き方に注意している。(B(1)ウ)
つぼみ	8	◎事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ○文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。(思・判・表C(1)ウ) ■文章を読んで分かったことや考えたことを伝え合う。 ☆動植物や自然に親しむ題材(道徳) ☆図鑑でいろいろな花のつぼみを見つける活動(図書館活用)	・文の中における主語と述語との関係に気づいている。(1)カ) ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(1)ク) ・「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ)
おもちゃとおもちゃ	2	◎拗音の表記、助詞の「へ」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ・語と語の続き方に注意することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■拗音のある言葉を使って文を作る。	拗音の表記、助詞の「へ」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使っている。(1)ウ) 「書くこと」において、語と語の続き方に注意している。(B(1)ウ)
あいいうえおで あそぼう	3	◎平仮名を読み、書くことができる。(知・技(1)ウ) ◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさを感じることができる。(知・技(3)イ) ■言葉遊び歌を楽しむ。	・平仮名を読み、書いている。(1)ウ) ・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさを感じている。(3)イ)
おおきくなった	4	◎観察したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使うことができる。(知・技(1)オ) ■観察したことを記録する文を書く。 ☆植物を観察する(生活科)	身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っている。(1)オ) 「書くこと」において、観察したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりしている。(B(1)ア)
おおきなかぶ	6	◎語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ■物語を楽しんで音読したり、劇遊びをしたりする。 ☆人との関わりで協力したり親切にしたりする題材。(道徳)	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(1)ク) 「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ)
はをへをつかおう	3	◎助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ・語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■助詞「は」「を」「へ」を使って文を書く。	助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方を理解して文や文章の中で使っている。(1)ウ) 「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)

第1学年 国語			単元のまとまりの評価規準		
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
すきな もの、なあに	7	◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ◎語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ○相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。(思・判・表A(1)イ) ・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ■「好きなもの」を紹介する。 ☆好きな物を知らせる。(生活科)	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。(1)ア)	・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。(A(1)イ) ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	これまでの学習をいかし、粘り強く伝えたいことや表し方を考え、自分が好きなものとその理由を紹介しようとしている。
おむすび ころりん	5	◎語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる(思・判・表C(1)イ) ○昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。(知・技(3)ア) ■昔話を音読したり演じたりする。	・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(1)ク) ・昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。(3)ア)	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ)	すすんで昔話の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読しようとしている。
としょかんと なかよし	2	◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ) ■図書館に行き、好きな本を選んで読書に親しむ。	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)エ)		積極的にいろいろな本を手に取り、これまでの学習をいかして本を選ぼうとしている。
こんな ことが あったよ	6	◎経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)オ) ・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ■体験や出来事を報告する文章を書く。	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。(1)ア)	・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)オ)	積極的に出来事や経験を思い出し、これまでの学習をいかして日記に書こうとしている。
こえを あわせて よもう	2	◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ■詩を音読する。 ☆好きな詩を探して読む活動の継続(図書館活用)	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(1)ク) 言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。(1)ア)	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A(1)エ)	これまでの学習をいかしながら、すすんで詩の内容を捉え、音読を楽しもうとしている。 これまでの学習をいかし、積極的に友達の話聞き、質問や感想を述べようとしている。

第1学年 国語			単元のまとまりの評価規準		
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
みんなに しらせよう	2	◎伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ) ○姿勢や口形、発声や発音に注意して話することができる。(知・技(1)イ) ○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。(思・判・表A(1)エ) ■知らせたい内容を聞き合う。 ☆話の内容を補うために、端末で撮影した写真などを共有(ICT活用)	姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。((1)イ)	・「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。(A(1)ウ) ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A(1)エ)	積極的に話す内容を考え、これまでの学習をいかして、伝えたい相手に応じて声の大きさや速さなどを工夫して話そうとしている。
ことばを みつけよう	2	◎身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ■みんなで言葉遊びをする。	身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。((1)オ)		積極的に言葉遊びに取り組み、これまでの学習をいかして自分でも言葉遊びを作成しようとしている。
やくそく	8	◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ■お話を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。 ☆人との関わりや譲り合い等に関わる題材。(道徳)	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク)	・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ)	学習の見通しをもって、すすんで登場人物の行動を確かめ、声に出してお話を楽しもうとしている。
かたかなを みつけよう	2	◎片仮名を読み、書くとともに、片仮名の長音、拗音、促音、撥音などの表記を理解して文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ・語と語との続き方に注意しながら文を書き表すことができる。(思・判・表B(1)ウ) ■身の回りから片仮名で書く言葉を見つけて読んだり書いたりする。	片仮名を読み、書くとともに、片仮名の長音、拗音、促音、撥音などの表記を理解して文や文章の中で使っている。((1)ウ)	・「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら文を書き表している。(B(1)ウ)	身の回りから片仮名で書く言葉をすすんで見つけ、これまでの学習をいかして簡単な文を書こうとしている。
うみの かくれんぼ	8	◎文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。(思・判・表C(1)ウ) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ○事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ■説明する文章を読み、分かったことを伝える。 ☆自然に親しむ題材。(道徳)	・文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ) ・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	・「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ)	学習課題に沿って、文章の中で大事な言葉を押さえながら粘り強く読み、分かったことを伝えようとしている。
かずと かんじ	4	◎第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書くことができる。(知・技(1)エ) ・語と語との続き方に注意しながら文を書き表すことができる。(思・判・表B(1)ウ) ■数え歌を書く。	第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書いている。((1)エ)	・「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら文を書き表している。(B(1)ウ)	これまでの学習や経験をいかし、積極的に数え方に興味をもち、漢字を使って数え歌を書こうとしている。

第1学年 国語			単元のまとまりの評価規準		
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
くじらぐも	8	◎場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ○かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ○場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ■読んで想像したことを伝え合う。	・かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。(1)ウ) ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(1)ク)	・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ)	これまでの学習をいかして、積極的に想像力を広げて物語を読み、想像したことを友達に伝えようとしている。
しらせたいな、見せたいな	10	◎経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○語と語や文と文との続き方に注意しながら書き表すことができる。(思・判・表B(1)ウ) ○文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすることができる。(思・判・表B(1)エ) ○助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ■見つけたことを記録して伝える。 ☆動植物の観察記録文を書く。(生活科)	助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して、文や文章の中で使っている。(1)ウ)	・「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら書き表している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。(B(1)エ)	学習の見通しをもち、知らせたいものを丁寧に観察し、見つけたことを文章にして伝えようとしている。
まちがいな なおそう	2	◎文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正すことができる。(思・判・表B(1)エ) ○助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方を理解して、文や文章の中で使っている。(知・技(1)ウ) ■正しい表記で文章を書く。	助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方を理解して、文や文章の中で使っている。(1)ウ)	「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正している。(B(1)エ)	これまでの学習をいかし、すすんで文章の文字を見直し、適切な表記に正そうとしている。
ことばを たのしもう	2	◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。(知・技(3)イ) ■詩や早口言葉を楽しむ。	長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。(3)イ)		これまでの学習や経験をいかし、積極的に詩や早口言葉を楽しみ、発声や姿勢に気をつけながら声に出して読もうとしている。
かん字の はなし	6	◎第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ○語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■漢字を使った短文を作る。	第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)	「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	積極的に漢字の成り立ちに興味をもち、学習課題に沿って漢字を使った短い文を書くこととしている。
じどう車くらべ	7	じどう車くらべ 7時間(読7) ◎事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ○文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。(思・判・表C(1)ウ) ■事物の仕組みを説明した文章を読み、分かったことをまとめる。	事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	・「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ)	すすんで文章を読み、説明における順序の重要性を知ること、自分が説明するときにかきたいことを見つけようとしている。
じどう車ずかんをつくらう	5	◎事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。(思・判・表B(1)イ) ○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ■「じどう車しょうかいカード」を書く。	事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	「書くこと」において、事柄の順序に沿って簡単	分かりやすい説明のしかたについて興味をもち、説明の順序に気をつけながら、自分でも自動車図鑑を作ろうとしている。

第1学年 国語			
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
			知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
かたかなを かこう	2	◎片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ・語と語との続き方に注意しながら、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■片仮名の言葉を集める。	片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。(1)ウ) 「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)
どんな おはなしが できるかな	6	◎互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。(思・判・表A(1)オ) ◎文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)オ) ○句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ) ○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。(思・判・表A(1)エ) ■友達と話したことを基にして物語を作る。	・句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。(1)ウ) ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。(1)カ) ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A(1)エ) ・「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。(A(1)オ) ・「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。(B(1)オ)
たぬきの 糸車	8	◎場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ○場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ■好きな場面を声に出して読む。	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(1)ク【知・技】語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(1)ク) ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ)
てがみで しらせよう	6	◎丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れることができる。(知・技(1)キ) ◎文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすることができる。(思・判・表B(1)エ) ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■伝えたいことを手紙に書く。 ☆お世話になった人に手紙を書く活動(生活科)	・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。(B(1)エ)
むかしばなしを よもう おかゆの おなべ	8	◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ) ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。(思・判・表C(1)カ) ■昔話を読み、感想を伝え合う。 ☆いろいろな昔話を選んで読む活動(図書館活用)	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)エ) ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ)
日づけと よう日	3	◎第1学年に担当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ○身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■唱歌を作る。	・第1学年に担当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ) ・身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。(1)オ) 「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)

第1学年 国語			単元のまとまりの評価規準		
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
なりきって よもう	2	◎場面の様子など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ☆お気に入りの詩を見つける活動(図書館活用) ☆工夫した読み方を端末で動画撮影し、友達と交流(ICT活用)	語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク)	「読むこと」において、場面の様子など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ)	すすんで詩の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読を楽しもうとしている。
くわしく きこう	2	◎身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。(思・判・表A(1)エ) ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ■紹介を聞いて、質疑応答する。 ☆紹介したい本を選ぶ活動(図書館活用) ☆話す練習を動画で撮影(ICT活用)	身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)オ)	・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A(1)エ)	積極的に友達の話を聞き、学習の見通しをもって、質問や感想を述べようとしている。
ことばで あそぼう	2	◎身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。(知・技(3)イ)	・身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。((3)イ)		積極的に身近なことを表す語句を使った言葉遊びを楽しみ、これまでの学習をいかして語彙を豊かにしようとしている。
どうぶつの 赤ちゃん	10	◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。(思・判・表C(1)ウ) ○読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ) ○時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。(思・判・表C(1)カ) ■書かれていることを比べて読む。	・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((1)ア)	・「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ)	学習の見通しをもち、文章の内容を比べながら粘り強く読むことで、本から得たことを友達に知らせようとしている。
ものの 名まえ	6	◎言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。(知・技(1)オ) ○互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。(思・判・表A(1)オ) ■尋ねたり、応答したりする。	・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア) ・身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づいている。((1)オ)	「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。(A(1)オ)	積極的に言葉の上位語と下位語に関心をもち、学習の見通しをもって、言葉を集めて「おみせやさんごっこ」をしようとしている。
わらしべちょうじゃ	1	◎昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。(知・技(3)ア) ○文章を読んで感じたことを共有することができる。(思・判・表C(1)カ) ■昔話の読み聞かせを聞く。 ☆我が国の文化や生活に親しみ愛着をもたせる題材(道德) ☆いろいろな昔話を読む活動(図書館活用)	昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。((3)ア)	「読むこと」において、文章を読んで感じたことを共有している。(C(1)カ)	積極的に昔話の読み聞かせを楽しみ、これまでの学習をいかして内容や感想を共有しようとしている。
かたかなの かたち	3	◎片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■片仮名の言葉を使って文を書く。	片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。((1)ウ)	「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	すすんで形の似ている字を探し、これまでの学習をいかして片仮名の言葉を使った文を書こうとしている。

第1学年 国語			単元のまとまりの評価規準		
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ことばあそびを つくろう	6	◎身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。(知・技(3)イ) ○語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■言葉遊びを作る。	・身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。((3)イ)	「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	身近なことを表す語句に積極的に関心をもち、これまでの学習をいかして言葉遊びを楽しもうとしている。
これは、なんでしょう	4	◎互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。(思・判・表A(1)オ) ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ・事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ■二人で相談し、考えをまとめる。	【態】学習の見通しをもち、友達の考えや感想を積極的に知ろうとし、読んで感じたことを伝え合おうとしている。	【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。(A(1)オ)	【態】これまでの学習をいかし、粘り強く二人で話し合い、協力してクイズを作ろうとしている。
ずうっと、ずっと、大すきだよ	8	◎文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。(思・判・表C(1)カ) ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ■読んで感じたことを伝え合う。 ☆生命を尊重する心を育てる題材。(道徳)	【知・技】身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。((1)オ)	【思・判・表】・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ)・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ)	【態】学習の見通しをもち、友達の考えや感想を積極的に知ろうとし、読んで感じたことを伝え合おうとしている。
にている かん字	3	◎第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■似ている漢字を使って文を書く。	【知・技】第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)	【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	【態】これまでの学習をいかし、すすんで漢字の形に注意し、楽しみながら文を書こうとしている。
いいこといっぱい、一年生	10	◎自分の思いが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。(思・判・表B(1)イ) ○経験したことから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ・言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ■経験したことを報告する文章を書く。 ☆生活を明るくする態度を育てる。(道徳)	【知・技】言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。((1)ア)	【思・判・表】「書くこと」において、経験したことから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 「書くこと」において、自分の思いが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(B(1)イ)	【態】これまでの学習や経験をいかし、事柄の順序に沿って構成を粘り強く考えながら、1年生の思い出を伝える文章を書こうとしている。

第1学年 国語(書写)

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
しょしゃの やくそく		しょしゃのやくそく 〔教科書巻頭〕 ◎書写学習の前に、机上の整理、書くための準備運動、姿勢・筆記具の持ち方を確かめる一連の流れを行うことができる。〔知技(3)ウ(ア)〕			【態】すすんで(①)書写学習の前の確認事項を理解し(③)、学習課題に沿って(②)机上の整理、書くための準備運動、姿勢・筆記具の持ち方を確かめる一連の流れを実践しようとしている(④)。
じぶんの なまえを かこう／もじ たんけんたい		じぶんのなまえをかこう／もじたんけんたい 〔教科書P1-3〕 ◎自分の名前を書いたり、校内にある文字を探したりすることで、書写学習に対する関心を高めることができる。〔知技(3)ウ(イ)〕			【態】すすんで(①)自分の名前の文字や校内にある文字に関心をもち(③)、学習課題に沿って(②)自分の名前を書いたり、校内にあるさまざまな文字を探したりしようとしている(④)。
しょしゃ たいそう		しょしゃたいそう 〔教科書P4-5〕 ◎書写体操を行うことができる。〔知技(3)ウ(ア)〕			【態】すすんで(①)書写体操の四つの動きを理解し(③)、学習課題に沿って(②)書写体操を行おうとしている(④)。
じを かく しせい	2	じをかくしせい 〔教科書P6-7〕 ◎文字を書くときの姿勢を正しくすることができる。〔知技(3)ウ(ア)〕	【知】文字を書くときの姿勢を正しくしている。	【思】唱え歌に合わせて、文字を書くときの姿勢を確かめている。	【態】積極的に(①)文字を書くときの姿勢を理解し(③)、書写学習の見通しをもって(②)姿勢を正しくしようとしている(④)。
えんぴつの もちかた		えんぴつのもちかた 〔教科書P8-9〕 ◎筆記具の持ち方を正しくして書くことができる。〔知技(3)ウ(ア)〕	【知】筆記具の持ち方を正しくして書いている。	【思】唱え歌に合わせて、筆記具の正しい持ち方を確かめている。	【態】積極的に(①)筆記具の正しい持ち方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)筆記具の持ち方を正しくしようとしている(④)。
いろいろな せんを かこう		いろいろなせんをかこう 〔教科書P10-11〕 ◎正しい姿勢と筆記具の持ち方で、いろいろな線を書くことができる。〔知技(3)ウ(イ)〕	【知】文字を書くときの姿勢と筆記具の持ち方を正しくして書いている。	【思】いろいろな線を書きながら、文字を書くときの正しい姿勢と筆記具の持ち方を確かめている。	【態】積極的に(①)文字を書くときの正しい姿勢と筆記具の持ち方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)いろいろな線を書こうとしている(④)。
「とめ」と「はらい」	2	「とめ」と「はらい」 〔教科書P12-13〕 ◎点画の書き方（止め・払い）に注意しながら、丁寧に書くことができる。〔知技(1)ウ、(3)ウ(イ)〕	【知】点画の書き方（止め・払い）に注意しながら、丁寧に書いている。	【思】「く」「つ」をなぞったり書いたりするなかで、点画の書き方（止め・払い）を確かめている。	【態】すすんで(①)点画の書き方（止め・払い）に注意し(③)、学習課題に沿って(②)「く」「つ」をなぞったり書いたりしようとしている(④)。
「はね」	2	「はね」〔教科書P14〕 ◎点画の書き方（はね）に注意しながら、丁寧に書くことができる。〔知技(1)ウ、(3)ウ(イ)〕	【知】点画の書き方（はね）に注意しながら、丁寧に書いている。	【思】「か」をなぞったり書いたりするなかで、点画の書き方（はね）を確かめている。	【態】すすんで(①)点画の書き方（はね）に注意し(③)、学習課題に沿って(②)「か」をなぞったり書いたりしようとしている(④)。
かきじゅん		かきじゅん〔教科書P15〕 ◎筆順に従って丁寧に書くことができる。〔知技(1)ウ、(3)ウ(イ)〕	【知】筆順に従って丁寧に書いている。	【思】「こ」「い」をなぞったり書いたりするなかで、筆順を確かめている。	【態】すすんで(①)筆順に気をつけ(③)、学習課題に沿って(②)「こ」「い」をなぞったり書いたりしようとしている(④)。
「まがり」と「おれ」	2	「まがり」と「おれ」 〔教科書P16-17〕 ◎点画の書き方（曲がり・折れ）に注意しながら、丁寧に書くことができる。〔知技(1)ウ、(3)ウ(イ)〕	【知】点画の書き方（曲がり・折れ）に注意しながら、丁寧に書いている。	【思】「の」「そ」をなぞったり書いたりするなかで、点画の書き方（曲がり・折れ）を確かめている。	【態】すすんで(①)点画の書き方（曲がり・折れ）に注意し(③)、学習課題に沿って(②)「の」「そ」をなぞったり書いたりしようとしている(④)。
「むすび」	2	「むすび」〔教科書P18〕 ◎点画の書き方（結び）に注意しながら、丁寧に書くことができる。〔知技(1)ウ、(3)ウ(イ)〕	【知】点画の書き方（結び）に注意しながら、丁寧に書いている。	【思】「ます」をなぞるなかで、点画の書き方（結び）を確かめている。	【態】すすんで(①)点画の書き方（結び）に注意し(③)、学習課題に沿って(②)「ます」をなぞろうとしている(④)。
じの かたち		じのかたち〔教科書P19〕 ◎文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。〔知技(1)ウ、(3)ウ(イ)〕	【知】文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。	【思】「お・に・く・も・へ・い」をなぞるなかで、文字の形を確かめている。	【態】すすんで(①)文字の形に注意し(③)、学習課題に沿って(②)「お・に・く・も・へ・い」をなぞろうとしている(④)。

第1学年 国語(書写)

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ことば	1	ことば〔教科書P20-21〕 ◎点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。〔知技(1)ウ、(3)ウ(イ)〕	【知】点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。	【思】「くつ」「かっぱ」などの言葉をなぞるなかで、点画の書き方や文字の形、筆順を確かめている。	【態】すすんで(①)点画の書き方や文字の形、筆順に気をつけ(③)、学習課題に沿って(②)「くつ」「かっぱ」などの言葉をなぞろうとしている(④)。
しょしゃ ひろげたい① (こくご)	1	しょしゃひろげたい① <こくご> 〔教科書P22-23〕 ◎点画の書き方や、ます目の用紙・罫線の用紙の書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。〔知技(1)ウ、(3)ウ(イ)〕 ○語と語や文と文との続き方を確かめて書くことができる。〔B(1)ウ・エ、(2)ア・イ〕	【知】点画の書き方や、ます目の用紙・罫線の用紙の書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。	【思】好きなことを紹介する文を書くなかで、点画の書き方や、ます目の用紙・罫線の用紙の書き方を確かめている。	【態】すすんで(①)点画の書き方や、ます目の用紙・罫線の用紙の書き方に注意し(③)、学習課題に沿って(②)好きなことを紹介する文を書こうとしている(④)。
しょしゃ ひろげたい② (せいかつ)		しょしゃひろげたい② <せいかつ> 〔教科書P24〕 ◎点画の書き方や文字の形、横書きの書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。〔知技(1)ウ、(3)ウ(イ)〕 ○観察したことを記録する文章を書くことができる。〔B(1)ウ・エ、(2)ア〕	【知】点画の書き方や文字の形、横書きの書き方、数字の書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。	【思】横書きで観察日記を書くなかで、点画の書き方や文字の形、横書きの書き方を確かめている。	【態】積極的に(①)点画の書き方や文字の形、横書きの書き方に注意し(③)、今までの学習を生かして(②)横書きで観察日記を書こうとしている(④)。
こんな ことは ないかな		こんなことはないかな 〔教科書P25〕 ◎点画の書き方や罫線の用紙の書き方に注意しながら、丁寧に書くことができる。〔知技(1)ウ、(3)ウ(イ)〕	【知】点画の書き方や罫線の用紙の書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。	【思】点画の書き方や罫線の用紙の書き方を確かめている。	【態】すすんで(①)点画の書き方や罫線の用紙の書き方を確かめ(③)、今までの学習を生かして(②)間違えやすいポイントに気をつけて書こうとしている(④)。
にて いる ひらがな	1	にているひらがな 〔教科書P26〕 ◎文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。〔知技(1)ウ、(3)ウ(イ)〕	【知】文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。	【思】「ね-れ-わ」「あ-め-ぬ」などをなぞるなかで、文字の形の違いを確かめている。	【態】すすんで(①)文字の形の違いに気をつけ(③)、学習課題に沿って(②)「ね-れ-わ」「あ-め-ぬ」などをなぞろうとしている(④)。
みずふでで かいて みよう		みずふででかいてみよう 〔教科書P27〕 ◎点画の書き方(止め・はね・払い)に注意しながら書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)ウ(イ)、内容の取扱いカ(エ)〕	【知】点画の書き方(止め・はね・払い)に注意しながら、水書用筆で丁寧に書いている。	【思】水書用筆で書くなかで、点画の書き方(止め・はね・払い)を確かめている。	【態】すすんで(①)点画の書き方(止め・はね・払い)に注意し(③)、学習課題に沿って(②)水書用筆で書こうとしている(④)。
ひらがな あつまれ	1	ひらがなあつまれ 〔教科書P42-43〕 ◎点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。〔知技(1)ウ、(3)ウ(イ)〕	【知】点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。	【思】自分の名前を書くなかで、点画の書き方や文字の形、筆順を確かめている。	【態】すすんで(①)点画の書き方や文字の形、筆順に気をつけ(③)、今までの学習を生かして(②)自分の名前を書こうとしている(④)。
かたかなの かきかた	2	かたかなのかきかた 〔教科書P28-29〕 ◎点画の書き方(終筆・送筆)に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。〔知技(1)ウ、(3)ウ(イ)〕	【知】点画の書き方(終筆・送筆)に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。	【思】「パン」「オ・ス・セ」をなぞったり見たりするなかで、点画の書き方(終筆・送筆)を確かめている。	【態】すすんで(①)点画の書き方(終筆・送筆)に注意し(③)、学習課題に沿って(②)「ゼリー」「オレンジ」「スूप」「パン」をなぞろうとしている(④)。

第1学年 国語(書写)

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
かたかな あつまれ	1	かたかなあつまれ 〔教科書P44-45〕 ◎点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。〔知技(1)ウ、(3)ウ(イ)〕	【知】点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。	【思】片仮名で自分の名前を書くなかで、点画の書き方や文字の形、筆順を確かめている。	【態】すすんで(①)点画の書き方や文字の形、筆順に気をつけ(③)、今までの学習を生かして(②)自分の名前を書こうとしている(④)。
「とめ」「はね」「はらい」	2	「とめ」「はね」「はらい」 〔教科書P30-31〕 ◎点画の書き方（止め・はね・払い）に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。〔知技(1)エ、(3)ウ(イ)〕	【知】点画の書き方（止め・はね・払い）に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。	【思】「小」「大」をなぞるなかで、点画の書き方（止め・はね・払い）を確かめている。	【態】すすんで(①)点画の書き方（止め・はね・払い）に注意し(③)、学習課題に沿って(②)止め・はね・払いをもつ線や漢字をなぞろうとしている(④)。
「おれ」「まがり」「そり」	2	「おれ」「まがり」「そり」 〔教科書P32〕 ◎点画の書き方（折れ・曲がり・反り）に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。〔知技(1)エ、(3)ウ(イ)〕	【知】点画の書き方（折れ・曲がり・反り）に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。	【思】「日」「七」「子」をなぞるなかで、点画の書き方（折れ・曲がり・反り）を確かめている。	【態】すすんで(①)点画の書き方（折れ・曲がり・反り）に注意し(③)、学習課題に沿って(②)折れ・曲がり・反りをもつ線や漢字をなぞろうとしている(④)。
かきじゅん	1	かきじゅん〔教科書P33〕 ◎筆順に従って丁寧に書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)ウ(イ)〕	【知】筆順に従って丁寧に書いている。	【思】「三・二・空・テ」「川・人・八・ツ」を書くなかで、筆順とその原則を確かめている。	【態】すすんで(①)筆順に気をつけながら(③)、学習課題に沿って(②)「三・二・空・テ」「川・人・八・ツ」をなぞろうとしている(④)。
にて いる かん字と かたかな	2	にているかん字とかたかな〔教科書P34-35〕 ◎点画の長短や方向に注意しながら、文字を正しく書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)ウ(イ)・ウ〕	【知】点画の長短や方向に注意しながら、文字を正しく書いている。	【思】点画の長短や方向を確かめている。	【態】すすんで(①)点画の長短や方向の違いに注意し(③)、今までの学習を生かして(②)「八人」「ハム」「シーソー」「ツナサンド」をなぞろうとしている(④)。
字の かたち		字のかたち〔教科書P36〕 ◎文字の形に注意しながら書くことができる。〔知技(1)エ、(3)ウ(イ)〕	【知】文字の形に注意しながら書いている。	【思】「十」「二」「月」を書くなかで、文字の形を確かめている。	【態】すすんで(①)文字の形に注意し(③)、学習課題に沿って(②)「十」「二」「月」を書こうとしている(④)。
かん字 しらべたい	1	かん字しらべたい 〔教科書P37〕 ◎漢字の成り立ちを知り、丁寧に書くことができる。〔知技(1)エ、(3)ウ(イ)〕	【知】「日」「山」「川」の成り立ちを知り、丁寧に書いている。	【思】「日」「山」「川」を丁寧に書きながら、その成り立ちを確かめている。	【態】すすんで(①)「日」「山」「川」の成り立ちを理解し(③)、学習課題に沿って(②)丁寧に書こうとしている(④)。
かきぞめ	6	かきぞめ〔教科書P38-39〕 ◎今までに学習した知識・技能を生かして書き初めを書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)ウ(ア)・(イ)・(ウ)〕	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	【思】書き初めを書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	【態】積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)書き初めを書こうとしている(④)。
一年生の まとめ	2	一年生のまとめ 〔教科書P40-41〕 ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)ウ(ア)・(イ)・(ウ)〕 ○経験したことを報告する文章を書くことができる。〔B(1)ウ・エ、(2)ア〕	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	【思】「一年生の思い出」を書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	【態】すすんで(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)「一年生の思い出」を書こうとしている(④)。
空に 大きく かこう	1	空に大きくかこう 〔教科書P48〕 ◎点画の書き方（止め・はね・払い）に注意しながら書くことができる。〔知技(1)エ、(3)ウ(イ)〕	【知】点画の書き方（止め・はね・払い）に注意しながら、丁寧に空書きしている。	【思】空書きをするなかで、点画の書き方（止め・はね・払い）を確かめている。	【態】すすんで(①)点画の書き方（止め・はね・払い）に注意し(③)、学習課題に沿って(②)空書きしようとしている(④)。

第1学年 算数		単元のまよりの評価規準		
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	主体的に学習に取り組む態度
なかよしあつまれ	5	ものともとのとを対応させることによって個数を比べることができるとともに、身のまわりのものの集合を捉える力を身につける。また、数や形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(ア)】	・ものともとのとを対応させることによって、ものの個数を比べることができる。	・観点に応じて、身のまわりのものの集合を捉えている。 ・数や形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
1 いくつか	8	○10までの数及び0について理解し、ものの個数を正しく数えることができるとともに、数の大きさを具体物や図などを用いて考え表現する力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(イ)(ウ)】	・10までの数及び0の意味や、数え方、よみ方、書き方、数の大きさや順序について理解し、数を数えたり比べたりすることができる。	・数を用いる具体的な場面に着目し、数の大きさや順序を具体物や図などを用いて考えている。 ・数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
2.なんばんめ	4	○集合数と順序数について理解し、個数や順番及びものの位置を正しく数えたり表したりすることができるとともに、集合数と順序数の違いを具体物や図などを用いて考え表現する力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(イ)(ウ)、B(1)ア(ア)】	・個数や順番を正しく数えたり表したりすることができる。また、前後、左右、上下など方向や位置についての言葉を用いて、ものの位置を表すことができる。	・集合数と順序数を用いる具体的な場面に着目し、それらの違いを具体物や図などを用いて考えている。 ・数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
3.いま なんじ	1	○時刻についての理解の基礎となる経験を重ね、日常生活の中で「何時」「何時半」のような時刻をよむことができるとともに、時刻と日常生活を関連づける力を身につける。また、時刻に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 C(2)ア(ア)、C(2)イ(ア)】	・日常生活の中で時刻をよむことができる。	・時刻のよみ方を用いて、時刻と日常生活を関連づけている。 ・時刻に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
4.いくつといくつ	7	○10までの数について、1つの数をほかの数の和や差としてみるなど、ほかの数と関係づけてみるができるとともに、数の合成・分解について具体物や図などを用いて考え表現する力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(エ)】	・1つの数をほかの数の和や差としてみるなど、ほかの数と関係づけてみるができる。	・数量の關係に着目し、ある数を合成・分解した数を考え、それらを具体物や図などを用いて表現している。 ・数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
5.ぜんぶでいくつ	9	○加法の意味(増加、合併)や式について理解し、1位数+1位数で繰り上がりのない加法の計算ができるとともに、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法の計算に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)(ウ)、A(2)イ(ア)】	・加法の意味(増加、合併)や式について理解し、1位数+1位数で繰り上がりのない加法の計算が確実に行える。	・数量の關係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。 ・数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
6.のこりはいくつ	7	○減法の意味(求残、求補)や式について理解し、1位数-1位数で繰り下がりのない減法の計算ができるとともに、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、減法の計算に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)(ウ)、A(2)イ(ア)】	・減法の意味(求残、求補)や式について理解し、1位数-1位数で繰り下がりのない減法の計算が確実に行える。	・数量の關係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。 ・数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
いったり きたり	1	①数の大小の比較及び減法の計算に習熟する。	・10までの数について、大小を比べたり差を求めたりすることができる。	
7.どれだけ おおい	3	○減法の意味(求差)や式について理解し、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、減法の計算に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)、A(2)イ(ア)】	・減法が用いられる場合(求差)を理解し、文章題を解くことができる。(AはBよりいくつ多い) ・減法が用いられる場合(求差)を理解し、文章題を解くことができる。(ちがいはいくつ)	・減法が用いられる場面を、ブロックなどを用いて考えたり、図に表したりしている。 ・減法の意味や式、計算のしかたについて、具体物や図などを用いて主体的に考えたり、減法の場面を身のまわりから見つけ、用いたりしようとしている。
さんすう なつやすみ	1	①加法、減法が用いられる場面を理解し、文章題を解くことができる。	・加法、減法が用いられる場面を理解し、文章題を解くことができる。	

第1学年 算数		単元の到達目標(小単元のねらい)			
単元名	時数			単元のまとまりの評価規準	
				知識・技能	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
8. 10より 大きい かず	10	○30程度までの数について理解し、数えたり表したり比べたりすることができるとともに、数の大きさを具体物や図などを用いて考え表現する力、及び繰り上がりのない2位数と1位数の加法、減法の計算のしかたを考える力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(ウ)(エ)(オ)(ク)、A(1)イ(ア)、A(2)ア(エ)】	・20までの数について、数え方、よみ方、表し方を理解している。・20までの数について、2とびや5とびで数えるしかたを理解し、数えたり表したりすることができる。・20までの数を10といくつに合成・分解することができる。・20までの数について、数直線での位置、順序、系列を理解している。・20までの数の大小を理解し、比べることができる。・20台、30台の数について、数え方、よみ方、表し方を理解している。・十＋1位数の加法と、その逆の減法の計算ができる。・繰り上がり、繰り下がりのない、十何＋1位数の加法と、その逆の減法の計算ができる。・身のまわりから30くらいまでの数を探ることができる。	・10より大きい数について、2ずつや5ずつ、10ずつなどの数のまとまりを用いて数えたり、「10とあといくつ」などの見方を用いて表し方や比べ方を考えたりしている。・十＋1位数及び十何＋1位数の加法と、その逆の減法の計算のしかたを、数の構成をもとにブロックなどを用いて考えている。	・身のまわりのものの個数を数えたり、数えたものを数字で表したり、30程度までの数を身のまわりから見つけ、その大きさを捉えたりしようとしている。
9.かずを せいりして	2	○絵や図を用いた数量の表現についての理解の基礎となる経験を重ね、ものの個数について、簡単な絵や図などに表したり、それらをよみ取ったりすることができるとともに、データの個数に着目して身のまわりの事象の特徴を捉える力を身につける。また、数量の整理に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 D(1)ア(ア)、D(1)イ(ア)】	・ものの数を種類ごとに分類整理して絵や図に表したり、それらをよみ取ったりすることができる。	・データの個数がわかりやすくなるように表し方を工夫して、身のまわりの事象の特徴を捉えている。	・ものの個数を絵や図などを用いてわかりやすく表すことのよさや楽しさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。
10.かたちあそび	5	○立体図形の理解の基礎となる経験を重ねて感覚を豊かにし、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができるとともに、形の特徴を捉えたり、形の構成について考えたりする力を身につける。また、身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 B(1)ア(ア)(イ)、B(1)イ(ア)】	・身のまわりにあるものの形について、形の特徴や機能的な特徴を理解し、箱などを用いて具体物の形を作ったり、作った形から逆に具体物を想像したりすることができる。・身のまわりにあるものの形の特徴を捉えて分類することができる。・箱などの具体物の面の形の特徴を捉え、しかく、さんかく、まるなどを見つけ、それらを使って形を構成することができる。・身のまわりにあるものの形について、平ら、丸い、かどがあるなどの形の特徴を理解している。	・身のまわりにあるものの形について、色や大きさ、位置や材質などに関係なく形を認め、形の特徴を捉えたり、形の構成について考えたりしている。	・身のまわりにあるものの形に関心を持ち、観察したり構成したり分解したりすることに主体的に取り組もうとしている。
こういてで さんすう	1	①加法、減法が用いられる場面を理解し、文章題を解くことができる。	・加法、減法が用いられる場面を理解し、文章題を解くことができる。		
11. 3つの かずの たしざん、ひきざん	4	○3口の数の加法、減法の意味や式について理解し、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法、減法の計算に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(エ)、A(2)ア(ア)(イ)、A(2)イ(ア)】	・3口の加法が用いられる場合を理解し、式に表し、計算ができる。・3口の減法が用いられる場合を理解し、式に表し、計算ができる。・3口の加減混合の計算が用いられる場合を理解し、式に表し、計算ができる。	・3口の加法や減法が用いられる場面を、ブロックなどを用いて考えたり、図に表したりしている。・10を多面的に捉えて、ブロックの並び方を式に表したり、式をよみ取ってブロックの並び方と関連づけたりしている。	
12.たしざん	8	○1位数＋1位数で繰り上がりのある加法について理解し、計算することができるとともに、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法の計算に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)(ウ)、A(2)イ(ア)】	・1位数＋1位数で繰り上がりのある加法の計算のしかた(加数分解)を理解し、計算ができる。・1位数＋1位数で繰り上がりのある加法の計算のしかた(被加数分解)を理解し、計算ができる。・加法が用いられる場合を理解し、1位数＋1位数で繰り上がりのある加法の文章題を解くことができる。・1位数＋1位数で繰り上がりのある加法の計算が確実にできる。・1位数＋1位数で繰り上がりのある加法の計算が確実にできる。	・10のまとまりに着目し、繰り上がりのある加法の計算のしかたをブロックや図、式などを用いて考えている。・被加数と加数の変化のきまりに着目して、答えが同じ加法の式の見つけ方を工夫している。	・繰り上がりのある加法の計算のしかたについて、具体物や図などを用いて主体的に考えようとしている。
13. ひきざん	8	○十何－1位数で繰り下がりのある減法について理解し、計算することができるとともに、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、減法の計算に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)(ウ)、A(2)イ(ア)】	・十何－1位数で繰り下がりのある減法の計算のしかた(減加法)を理解し、計算ができる。・十何－1位数で繰り下がりのある減法の計算のしかた(減減法)を理解し、計算ができる。・減法が用いられる場合を理解し、十何－1位数で繰り下がりのある減法の文章題を解くことができる。・十何－1位数で繰り下がりのある減法の計算が確実にできる。・十何－1位数で繰り下がりのある減法の計算が確実にできる。	・10のまとまりに着目し、繰り下がりのある減法の計算のしかたをブロックや図、式などを用いて考えている。・被減数と減数の変化のきまりに着目して、答えが同じ減法の式の見つけ方を工夫している。	・繰り下がりのある減法の計算のしかたについて、具体物や図などを用いて主体的に考えようとしている。

第1学年 算数		単元のまとまりの評価規準			
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
どこに あるかな	1	①2方向からものの位置を表すことができる。	・上下、左右、前後などの言葉を用いて、2方向からのものの位置を表すことができる。		
14.くらべかた	9	○量の理解の基礎となる経験を重ねて感覚を豊かにするとともに、長さ、かさ、広さなどの量の大きさの比べ方を考える力を身につける。また、身のまわりにあるものの大きさに親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 C(1)ア(ア)(イ)、C(1)イ(ア)】	・長さの意味を理解し、長さを直接比較によって比べることができる。・ものの長さを間接比較によって比べることができる。・ものの長さについて、ある大きさを単位としてそのいくつかで数値化して比べることができる。・かさの意味を理解し、もののかさを直接比較、間接比較によって比べることができる。・もののかさについて、ある大きさを単位としてそのいくつかで数値化して比べることができる。・ものの広さについて、直接比較や、ある大きさを単位としてそのいくつかで数値化して比べることができる。	・身のまわりのものの特徴の中で、比べたい量に着目し、直接比べたり、媒介物を用いて間接的に比べたり、ある大きさを単位としてそのいくつかで数値化したたりするなど、比べ方を考えている。・広さの大きさを比べる場合に、ある大きさを単位としてそのいくつかで数値化する見方を生かしている。	・身のまわりにあるものの量(長さ、かさ、広さなど)に関心をもち、量の大きさを比べることに主体的に取り組もうとしている。
さんすうで ふゆじたく	1	①20までの数の順序、系列、加法、減法の計算に習熟する。	・20までの数の順序、系列を理解するとともに、繰り上がりのある加法及び繰り下がりのある減法の計算ができる。		
15.大きな かず	11	○2位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方の基礎を理解し、120程度までの数を数えたり表したり比べたりすることができるとともに、数の大きさを具体物や図などを用いて考え表現する力、及び簡単な場合について2位数などの加法、減法の計算のしかたを考える力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(ウ)(エ)(オ)(カ)(キ)(ク)、A(1)イ(ア)、A(2)ア(エ)】	・一の位、十の位について知り、2位数のよみ方、表し方を理解し、書いたりよんだりすることができる。・2位数を10がいくつと1がいくつと捉えることをとおして、数の構成を理解している。・百について知り、100の数え方、よみ方、書き方を理解している。・100までの数について、数直線での位置、順序、大小、系列を理解している。・120程度までの数について、数え方、よみ方、表し方、及び数直線での位置、順序、大小、系列を理解している。・十を単位としてみられる数の加法、減法の計算ができる。・簡単な2位数と1位数の加法、減法の計算ができる。・2位数の構成、順序、大小、系列について理解している。	・2位数について、「10のまとまりがいくつと、端数がいくつ」などの見方を用いて表し方や比べ方を考えている。・100までの数表から、数の並び方に関するきまりを見いだしている。・十を単位としてみられる数の加法と減法、及び簡単な2位数と1位数の加法と減法の計算のしかたを、10のまとまりや数の構成などをもとにブロックなどを用いて考えている。・2位数の構成、順序、大小、系列について理解している。	・身のまわりのものの個数を数えたり、数えたものを数字で表したり、120程度までの数を身のまわりから見つけ、その大きさを捉えたりしようとしている。
16.なんじなんぶん	3	○時刻についての理解の基礎となる経験を重ね、日常生活の中で「何時何分」のような時刻をよむことができるとともに、時刻と日常生活を関連づける力を身につける。また、時刻に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 C(2)ア(ア)、C(2)イ(ア)】	・時計の目盛りのしくみを理解している。・時刻(何時何分)をよむことができる。	・時刻のよみ方を用いて、時刻と日常生活を関連づけている。	・時刻を用いることで日常生活の行動に生かせるというよさに気づき、日常生活の中で時刻を用いようとしている。
おなじ かずずつに わけよう	1	①1つの数を多面的にみて、同じ数のまとまりとしてみたり、等分した数としてみたりして、おなじきや式で表すことができる。	・おなじきを同じ数ずつに整理して分けたり、それを式に表したりすることができる。	・1つの数を同じ数のまとまりとしてみたり、等分した数としてみたりして、多面的に捉えている。	
17.どんな しきに なるかな	5	○順序数の加法、減法及び求大、求小の加法、減法の意味や式について理解し、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法、減法の計算に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)、A(2)イ(ア)】	・順序数の加法が用いられる場合を理解し、文章題を解くことができる。・順序数の減法が用いられる場合を理解し、文章題を解くことができる。・求大の場面で加法が用いられる場合を理解し、文章題を解くことができる。・求小の場面で減法が用いられる場合を理解し、文章題を解くことができる。	・順序数の加法、減法及び求大、求小の加法、減法が用いられる場面の式を、図に表して考えている。・求大の加法が用いられる場面の式を、図に表して考えている。	・順序数の加法、減法及び求大、求小の加法、減法の意味や式、計算のしかたについて、具体物や図などを用いて主体的に考えようとしている。
18.かたちづくり	5	○平面図形の理解の基礎となる経験を重ねて感覚を豊かにし、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができるとともに、形の特徴を捉えたり、形の構成について考えたりする力を身につける。また、身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 B(1)ア(ア)(イ)、B(1)イ(ア)】	・色板を組み合わせて、身のまわりにある具体物の形を作ることができる。・ずらす、回す、裏返すなどの操作によって、ほかの形に変えることができる。・ストローを使ってさんかくやしかくを作ったり、それらの形を組み合わせて、身のまわりにある具体物の形を作ったりすることができる。・点と点を結んでさんかくやしかくをかいたり、かいた形から具体物を想像したりすることができる。・色板を用いて具体物の形を構成したり、その形をさんかくやしかくに分解して捉えたりすることができる。	・身のまわりにある具体物の特徴を捉え、それらの形の構成のしかたを考えている。	・身のまわりにあるものの形に関心をもち、観察したり構成したり分解したりすることに主体的に取り組もうとしている。

第1学年 算数		単元の到達目標(小単元のねらい)		
単元名	時数		単元のまとまりの評価規準	
			知識・技能	主体的に学習に取り組む態度
1ねんのふくしゅう	3	①②③第1学年の学習内容の問題を解決することができる。	・第1学年の学習内容について、知識及び技能を身につけている。	・第1学年で学習した基本的な問題について、算数で学んだことのよさを感じながら取り組もうとしている。

第1学年 生活		単元のまとまりの評価規準			
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
			学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の使い方や友達のように気付いている。	学校生活に関わる活動を通して、幼児期の教育で使っていた施設との共通点を見付けている。	学校生活に関わる活動を通して、友達や先生と学校生活を過ごすことの楽しさを実感し、安心して遊びや学習をしようとしている。
ときどき わくわく 1ねんせい	8	学校生活に関わる活動を通して、幼児期の教育での経験を思い起こしながら、学校の中を歩いたり、友達と関わったりし、学校の施設の使い方や友達のように気付くとともに、友達や先生と学校生活を過ごすことの楽しさを実感し、安心して遊びや学習をしようすることができるようにする。	学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の使い方や友達のように気付いている。	学校生活に関わる活動を通して、幼児期の教育で使っていた施設との共通点を見付けている。	学校生活に関わる活動を通して、友達や先生と学校生活を過ごすことの楽しさを実感し、安心して遊びや学習をしようとしている。
がっこう だいすき	12	学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と自分との関わりを見付け、学校生活を支えている人々や友達のことが分かるとともに、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりすることができるようにする。	学校探検や通学路探検を通して、学校での生活はさまざまな人や施設と関わっていることに気付いている。	学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と、自分との関わりを見付けている。	学校探検や通学路探検を通して、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりしようとしている。
はなを さかせよう	8	植物を継続的に栽培する活動を通して、それらの育つ場所、成長の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物に親しみをもち、大切にしようとすることができるようにする。	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の育つ場所、成長の様子に関心をもって働きかけている。	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物に親しみをもち、大切にしようとしている。
なつが やってきた	8	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う物をつくったりして、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付くとともに、公共物や公共施設を安全に正しく利用しようしたり、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようしたりすることができるようにする。	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付いている。	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然を全身で感じながら夏の自然を生かした遊びを楽しんでいる。	夏の自然と関わる活動を通して、公共物や公共施設を安全に正しく利用したり、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとしている。
いきもの と なかよし	3	身近な環境にいる生き物を探したり観察したりする活動を通して、それらの育つ場所、動きや特徴に関心をもって働きかけることができ、身近な生き物の様子や特徴、生命をもっていることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にしようすることができるようにする。	身近な環境にいる生き物を探したり観察したりする活動を通して、身近な生き物の様子や特徴、生命をもっていることに気付いている。	身近な環境にいる生き物を探したり観察したりする活動を通して、生き物の育つ場所、動きや特徴に関心をもって働きかけている。	身近な環境にいる生き物を探したり観察したりする活動を通して、生き物への親しみをもち、大切にしようとしている。
たのしい あき いっぱい	21	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりすることができ、自然の様子や季節の変化に気付いたり、遊びの面白さや自然の不思議さに気付いたりするとともに、身近な自然を取り入れ、みんなと楽しみながら遊びを創り出し、自分の生活を楽しくしようすることができるようにする。	秋の自然と関わる活動を通して、自然の様子や季節の変化、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることの面白さ、自然の不思議さに気付いている。	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、身近な自然を使って、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりしている。	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れ、みんなと楽しみながら遊びを創り出し、自分の生活を楽しくしようとしている。
じぶんで できるよ	12	家庭生活について、調べたり、尋ねたり、実際に行ったりすることを通して、自分の家庭生活を振り返り、家庭生活を支えている家の人のことや、家の人のよさ、自分でできることなどについて考え、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活しようすることができるようにする。	家庭生活について、調べたり、尋ねたり、実際に行ったりすることを通して、家庭での生活は互いに支え合っていることに気付いている。	家庭生活について、調べたり、尋ねたり、実際に行ったりすることを通して、家庭における家の人のことや自分でできることなどについて考えている。	家庭生活について、調べたり、尋ねたり、実際に行ったりすることを通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活しようとしている。
ふゆを たのしもう	10	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子を比べたり、自然を利用した遊びを工夫したり、公共物や公共施設のよさを感じたり働きを捉えたりすることができ、遊びの面白さや自然の不思議さ、身近な自然の様子、季節によって生活の様子が変わることに関心とともに、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようすることができるようにする。	冬の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、遊びの面白さや自然の不思議さ、季節によって生活の様子が変わることに関心している。	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子を比べたり、自然を利用した遊びを工夫したり、公共物や公共施設のよさを感じたり働きを捉えたりしている。	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れたら、公園など身の回りの公共施設を大切に利用したりして、自分の生活を楽しくしようとしている。
もう すぐ 2ねんせい	17	年長児と関わりを深めたり、入学してからの1年間を振り返ったりする活動を通して、1年前の自分と今の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりして、自分自身の成長や、役割が増えたことに気付くとともに、支えてくれた人への感謝の気持ちと、進級への期待感や意欲をもって生活しようすることができるようにする。	年長児と関わりを深めたり、入学してからの1年間を振り返ったりする活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさや、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどに気付いている。	年長児と関わりを深めたり、入学してからの1年間を振り返ったりする活動を通して、1年前の自分と今の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりしている。	年長児と関わりを深めたり、入学してからの1年間を振り返ったりする活動を通して、これまでの成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。

第1学年 音楽

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
どんなうたがあるかな 1. うたってうごいて みんなで おんがく	8	(1) 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌う技能を身に付ける。(2) 拍、速度、旋律、リズム、強弱、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。(3) 歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、小学校生活の始まりを明るく潤いのあるものにしてしようとする態度を養う。	曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 思いに合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌う技能を身に付けている。	拍、速度、旋律、リズム、強弱、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。	歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
2.はくとリズム	7	(1) 曲想と、リズムや拍など音楽の構造との関わりや、身の回りの様々な音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの声や音、伴奏を聴き、拍に合わせてリズム表現する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげて表現する技能を身に付ける。(2) リズムや拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについての思いをもったり、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たりする。(3) 拍に合わせていろいろなリズムで表現したり歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、リズムや拍などに親しむ。	曲想と、リズムや拍など音楽の構造との関わりや、身の回りの様々な音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 思いに合った表現をするために必要な、互いの声や音、伴奏を聴き、拍に合わせて歌ったりリズム打ちしたりする技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげて表現する技能を身に付けている。	リズムや拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについての思いをもったり、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たりしている。	拍に合わせていろいろなリズムで表現したり歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
うみ	2	(1) 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。(2) 拍や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。(3) 情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、日本のうたに親しむ。	曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	拍や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
3.どれみとなかよし	4	(1) 曲想と音階など音楽の構造との関わりに気付くとともに、音高を体などで表現する活動などを通して、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付ける。(2) 音階、旋律、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。(3) 階名で表現したり、体などを動かしながら歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、階名に親しむ。	曲想と音階など音楽の構造との関わりに気付いている。 音高を体などで表現する活動を通して、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けている。	音階、旋律、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	階名で表現したり、体などを動かしながら歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
こんにちは けんぱんハーモニカ	4	(1) 鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、鍵盤ハーモニカの扱い方や鍵盤の位置、息のつかい方など基礎的な演奏技能や、思いに合った表現をするために必要な、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付ける。(2) 旋律、速度、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。(3) 鍵盤ハーモニカで様々な表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、鍵盤楽器に親しむ。	鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。 鍵盤ハーモニカの扱い方や鍵盤の位置、息のつかい方など基礎的な演奏技能や、思いに合った表現をするために必要な、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付けている。	旋律、速度、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。	鍵盤ハーモニカで様々な表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
4.うたの もりあがり	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。(2) 旋律や音階などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。(3) 歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、日本のうたに親しむ。	曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 思いに合った表現をするために必要な、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	旋律や音階などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

第1学年 音楽		単元のまとまりの評価規準			
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
5.いろいろとつよさ	7	(1) 打楽器の音やそれらのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いたり、曲想と音色や強弱などの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたり、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくりたりする技能を身に付ける。(2) 音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いたりする。(3) 様々な試しながら打楽器の音の特徴を見付ける学習などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、様々な楽器の音に親しむ。	打楽器の音やそれらのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いたり、曲想と音色や強弱などの音楽の構造との関わりについて気付いたりしている。発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたり、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくりたりする技能を身に付けている。	音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いたりしている。	様々な試しながら打楽器の音の特徴を見付ける学習などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。
6.うたでまねっこ	4	(1) 曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付ける。(2) フレーズや呼びかけとこたえなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。(3) 聴き合って歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、交互唱に親しむ。	曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりについて気付いている。思いに合った表現に必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付けている。	フレーズや呼びかけとこたえなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	聴き合って歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
ねこのなきごえであそぼう	3	(1) 曲想と、音色や強弱、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりについて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付ける。(2) 音色や強弱、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、声による音遊びを通して音楽づくりの発想を得る。(3) いろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、生活の中の様々な音や音楽に親しむ。	声の高さや強弱、様々な声の出方の特徴について、それらが生み出す面白さや歌詞などに関わらせて気付いている。発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。	声の高さや強弱、音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、声による音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。	いろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
7.おんがくのながれ	3	(1) 曲想と、旋律の反復と変化、合いの手など音楽の構造との関わりについて気付く。(2) 旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴く。(3) 曲想を感じ取ったり、音楽が表している情景を想像して聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、標題音楽やオーケストラの響きに親しむ。	曲想と、旋律の反復と変化、合いの手など音楽の構造との関わりについて気付いている。	旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。	曲想を感じ取ったり、音楽が表している情景を想像して聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
8.みんなのおんがく	2	(1) 曲想とリズムなど音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。(2) 拍を感じながらリズムや旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。(3) 音楽が表している情景を想像しながら表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	曲想とリズムなど音楽の構造との関わりについて気付いている。思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。	拍を感じながらリズムや旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。	音楽が表している情景を想像しながら表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
ほしのおんがくをつくろう		(1) 旋律の特徴について、それが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつなげたり重ねたりして簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。(2) 旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもつ。(3) 短い旋律をつくり、それをつなげたり重ねたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、旋律や音の重なりに親しむ。	旋律の特徴について、それが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつなげたり重ねたりして簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。	旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもっている。	短い旋律をつくり、それをつなげたり重ねたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

第1学年 図画工作

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
すきなもの いっぱい	2	食べ物や乗り物、動物など好きなものをたくさん描く。 ○形や色を工夫する。 ○好きなものをいろいろ考える。 ○好きなものをたくさん描いてたのしむ。	○好きなものを描く活動を通して、クレヨンやパスなどの色に気づいている。 ○クレヨンやパスの扱いに慣れ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	○好きなものを思い浮かべ、表したいことを見つけたり、好きな色や画用紙の形を考えたりしながら、どのように表すか考えている。 ○自分や友達作品を鑑賞することを通して、表したいことや表し方などについて、自分の見方や感じ方を広げている。	○描くことの喜びを味わい、好きなものを思いつくまに、描く学習活動にたのしく取り組もうとしている。
おしえて みんなの すきなもの	2	自分や友達が描いたものを見せ合う。 ○形や色を工夫する。 ○好きなものや描きたいものをたくさん見つける。 ○友達の描いた好きなものを見てたのしむ。	○自分や友達の描いた好きなものを見ることを通して、いろいろな形や色に気づいている。	○自分や友達の描いたものの造形的な面白さやたのしさ、表し方などについて感じ取ったり考えたりして、見方や感じ方を広げている。	○友達の描いた好きなものを見ることを通して、鑑賞する学習活動にたのしく取り組もうとしている。
ねんどと なかよし	2	○粘土を触ってたのしく活動する。手をしっかり使って、粘土でいろいろな形に変える。粘土でどんなことができるか考える。粘土の触り心地をたのしむ。	○粘土に働きかける感覚や行為を通して、触った感じや形の変化に気づいている。 ○丸める、のばす、つまむなど、手や体全体の感覚を働かせながら、活動を工夫してつくっている。	○粘土を触った感じやそこから生まれる形をもとに、造形的な活動を思いつき、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の作品の造形的な面白さやたのしさについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○粘土の触り心地を味わい、粘土のできる活動を考えたり、いろいろな形を見つけたる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
すきなもの いろいろ あるね	2	土粘土に触れ合いながらつくりたいものをつくる。 ○粘土でいろいろなもののつくり方を工夫する。 ○粘土でつくりたいものをいろいろ考える。 ○粘土でたくさんつくることをたのしむ。	○いろいろな表し方から生まれる粘土の形に気づいている。 ○粘土を丸める、のばす、引き出す、つけるなど、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	○これまでの経験や想像したことをもとに、粘土でつくりたいことを思いつき、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の作品の面白さや楽しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○粘土の心地よい感触を味わい、粘土で好きなものをたくさんつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
ならべて みつけて	2	材料の形や色をもとに発想し、材料の並べ方を考えながら活動する。 ○身近な材料の並べ方を工夫する。 ○いろいろな並べ方を考える。 ○並べてできる形や色をたのしむ。	○いろいろな材料を並べたり組み合わせたりする活動を通して、形や色、並べ方の面白さに気づいている。 ○並べたり組み合わせたりするなど、手や体全体の感覚を働かせ、活動を工夫してつくっている。	○いろいろな材料の形や色、大きさなどの特徴から、並べ方を思いつき、どのように活動するか考えている。 ○いろいろな材料の形や色、大きさの並べ方やつなぎ方のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○色、大きさなどに関心をもち、好きな並べ方を見つける学習活動にたのしく取り組もうとしている。
チョッキン パッで かざろう	4	折った色紙を切って開くことできる形をつなげて飾る。 ○紙の折り方や切り方を工夫する。 ○切った形や色の組み合わせを考える。 ○つくったり飾ったりすることをたのしむ。	○折り方や切り方によってできる形や色の組み合わせに気づいている。 ○折り方や切り方などをさまざまに試しながら、工夫して表している。	○自分のイメージをもちながら、折り方や切り方、色の組み合わせなどについて、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の作品の面白さやたのしさ、表し方を感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○折り方や切り方、色の組み合わせによって、いろいろな形や色の感じがあることに関心をもち、飾るものをつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
さわって まげて きもちいい	2	手や指を使って絵の具で描くたのしさや気持ちよさを味わう。 ○手や指を使った描き方を工夫する。 ○とろとろ絵の具で描きたいことやものを考える。 ○触って描く気持ちよさをたのしむ。	○手や指で描くことを通して、触った感じや絵の具の跡の形や色の違いに気づいている。 ○手や指、体全体を動かす勢いや速さ、強さを変えるなど、手の感覚を働かせ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	○手や指で思いのままに描いたり塗ったりした形や色から表したいことやものを見つけ、どのように表すか考えている。 ○とろとろ絵の具の面白さやたのしさ、表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○とろとろ絵の具の気持ちよさを味わい、手や指につけて描いたり塗ったりする学習活動にたのしく取り組もうとしている。
ひかりの くにの なかまたち	4	色セロハンと透明な袋で、光を通すときれいな飾りをつくる。 ○袋の形や色セロハンの色を工夫する。 ○光を通す材料からつくりたいものを考える。 ○たのしくつくって飾る。	○材料や作品を光にかざすことを通して、光が透過する材料の形や色に気づいている。 ○袋の形を考えたり、中に入れる材料を選んだりするなど、表したいことをもとに工夫して表している。	○材料の形や色などをもとに、つくりたいものを思いつき、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の作品の形や色の面白さ、たのしさなどについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○光を通した材料の美しさや面白さに関心をもち、飾るものをつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
すいすいぐるーり	2	筆の軌跡や線の動きから、感じたことや思いついたことを自由に表す。 ○線の描き方や色の使い方を工夫する。 ○線のいい感じを見つかる。 ○のびのびと描くことをたのしむ。	○共同絵の具で表す線の跡や動きから、形や色などに気づいている。 ○共同絵の具の扱いに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	○好きな色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の作品の面白さやたのしさを感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○共同絵の具でのびのびと描く心地よさを味わい、絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
スタンプぺったん	2	身近な材料を使って、形を見つながらスタンプする。 ○写す形や色の組み合わせを工夫する。 ○写しながら形を見つかる。 ○友達とスタンプ遊びをたのしむ。	○いろいろな材料を写すことを通して、写った形や色などに気づいている。 ○手や体全体の感覚を働かせながら、スタンプをする活動を工夫してつくっている。	○身近な材料を写してできる形や色をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動をするか考えている。 ○写された形や色から自分のイメージをもって、見ることをたのしんでいる。	○つくりだす喜びを味わい、スタンプをする学習活動にたのしく取り組もうとしている。

あそぼうよ バクバクさん	2	手で動かして遊ぶおもちゃをつくる。表したいことに合わせて切り方や貼り方を工夫する。動かしてのしいバクバクさんを考える。バクバクさんで遊ぶことをたのしむ。	○バクバクと動く様子から、つくりたいものを工作に表すことを通して、形や色などに気づいている。 ○色画用紙や接着剤に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	○バクバクと動く様子をもとにして、感じたことや、想像したことから表したいことを見つけ、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の作品の面白さやたのしさ、表したいこと、表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○つくりだす喜びを味わい、バクバクと動く様子をもとにしてつくりたいものを表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
こすりだしから うまれたよ	2	こすりだした模様 の形や色から工夫して表現する。 ○身のまわりにあるでこぼこを探してこすりだす。 ○こすりだしをして表したいことを考える。 ○クレヨンやパスでこすりだしたのしむ。	○凸凹をこすりだす活動を通して、クレヨンやパスで表される模様 の形や色などに気づいている。 ○クレヨンやパスの扱いに慣れ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	○こすりだしをする活動を通して、見えてきた形や色から表したいことや表したいものを見つけ、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の作品を鑑賞することを通して、表したいことや表し方などについて、自分の見方や感じ方を広げている。	○クレヨンやパスで凸凹をこすりだす学習活動にたのしく取り組もうとしている。
うきうきボックス	4	紙箱の形を変えたり飾りをつけたりしてつくりたいものをつくる。 ○箱の飾り方を工夫する。 ○箱の形を生かした飾りを考える。 ○箱をたのしく飾る。	○箱の飾りつけを考えたり、互いの作品を見せ合ったりすることを通して、形や色に気づいている。 ○箱の形や色を生かした飾りつけをするなど、表し方を工夫して表している。	○空き箱の形や色をもとに、つくりたいものを思いつき、どのように表すか考えている。 ○箱の形や色を生かした飾り方の工夫について感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○空き箱を飾ることに関心をもち、空き箱で表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
いろんな ともだち はなしたす	2	型押しをした紙粘土をもとに顔をつくる。 ○型押しのかたや顔のつくり方を工夫する。 ○どんな顔にするか考える。 ○顔をつくったり、粘土の友達でお話したりすることをたのしむ。	○粘土を型押しすることを通して、できた形や色などに気づいている。 ○型押しをすることや粘土べらを使ってつくことを通して粘土に慣れるとともに、表し方を工夫して表している。	○型押しでできた粘土の形から想像して、どのように表すか考えている。 ○つくった友達でお話することから、造形的な面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○粘土で顔をつくったり、粘土の友達でお話したりする学習活動にたのしく取り組もうとしている。
だいすき！ わくわくペーパー	2	大きな紙の触り心地や大きさなどの特徴を感じながら体全体を使って活動する。 ○いろいろな遊び方をして、紙の特徴に気づく。 ○大きな紙を使ったのしい遊びを考える。 ○体全体を使って、紙で遊ぶことをたのしむ。	○紙を優しく触ったり、歩きながら紙をなびかせたりして紙の特徴に気づいている。 ○紙と仲良くできるいろいろな遊び方をして活動を工夫してつくっている。	○紙を使って、どのようにたのしく遊ぶか考えている。 ○紙の大きさ、触った感じなどの面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○体全体を使って、紙で遊ぶ学習活動にたのしく取り組もうとしている。
ふわっと ぎゅっと おはながみの え	4	丸めたり、ちぎったりしたお花紙を、並べたり重ねたりして絵に表す。お花紙の形や、並べたり重ねたりする組み合わせを工夫する。貼りながら表したいものを考える。材料の形や色、触り心地をたのしむ。	○材料の形を変えたり貼り重ねたりすることを通して、材料のもつ形や色、触った感じに気づいている。 ○材料の特徴を生かした形のつくり方や重ね方、貼り方を試しながら、表したいことをもとに工夫して表している。	○貼り重ねた材料の形や色から表したいものを見つけ、どのように表すか考えている。 ○お花紙の面白さやたのしさについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○材料の形や色、触り心地を味わい、お花紙を並べたり重ねたりして表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
おしらせします！ にっこりニュース	4	たのしかったことやうれしかったことを絵に表す。 ○知らせたいことが伝わるように形や色、描き方を工夫する。 ○一番知らせたいことを考える。 ○みんなに知らせたいことをたのしく描く。	○クレヨンやパスなどの身近な材料を使って描く活動を通して、表したいものの形や色に気づいている。 ○クレヨンやパスの扱いに十分に慣れ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	○日常生活の中で感じたことから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の作品を鑑賞することを通して、造形的な面白さやたのしさ、表し方について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○日常の出来事をたのしく描き、友達に知らせる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
くしゃくしゃ だいへんしん	4	くしゃくしゃにした紙からつくりたいものを立体に表す。 ○くしゃくしゃにした紙の形や色、組み合わせを工夫する。 ○くしゃくしゃにした紙の形からつくりたいものを考える。 ○紙の触り心地を味わいながらつくることをたのしむ。	○色薄紙に触れることを通して、そこから生まれる形や色などに気づいている。 ○表したいことをもとに、形や色の組み合わせやつくり方を工夫して表している。	○くしゃくしゃにした色薄紙の形や色、触った感じなどをもとに、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の作品を鑑賞することを通して、表したもののや表し方のよさなどを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○くしゃくしゃにした色薄紙から形を見つけ表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
ふわっ ふわっ ゴー	2	うちわであおぐと風で動いたのしいおもちゃを考えてつくる。 ○スチレン容器の切り方や飾りを工夫する。 ○動き方から、つくりたいおもちゃを考える。 ○つくったり遊んだりしてたのしむ。	○つくったり互いの作品で遊んだりすることを通して、飾りの形や色に気づいている。 ○動きの特徴を生かした飾りをつけたり、模様を描いたりするなど、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	○風で動く仕組みや動きの特徴をもとに、つくりたいものを思いつき、どのように表すか考えている。 ○互いの作品で遊ぶことを通して、動き方の面白さや飾りのよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○風で動くおもちゃをつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
つくって へんしん	2	さまざまな材料を選んだり組み合わせたりしながらつくり、身に付けてたのしむ。 ○変身グッズのつくり方を工夫する。 ○変身したいものを考える。 ○変身グッズをつくったり、遊んだりすることをたのしむ。	○変身グッズをつくることを通して、形や色などに気づいている。 ○変身グッズのつくり方や飾りつけの方法などをいろいろ試しながら、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	○自分が変身してみたいものに合わせた変身グッズを思いつき、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の作品の面白さやたのしさ、いろいろな表し方などについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○変身したいものに合わせた変身グッズをつくることや、変身する学習活動にたのしく取り組もうとしている。

できたらいいな こんなこと	4	できたらいいと思うことを考えて絵に表す。 ○思いついたことに合わせて、描き方を工夫する。 ○できたらいいと思うことを考える。 ○想像を広げて描くことをたのしむ。	○絵に表したり友達作品を見たりすることを通して、描かれているものの形や色に気づいている。 ○伝えたい気持ちをもとに、いろいろな描画材料の表し方を試しながら工夫して表している。	○経験したことや想像したことをもとに「やってみよう」と思いつき、どのように表すか考えている。 ○友達が想像した「ゆめのたしさん」のたのしさや、表し方のよさや違いを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○経験したことから自由に想像を広げて、絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
はこと はこを くみあわせて	4	空き箱を組み合わせて好きなものを立体に表す。 ○箱の組み合わせやつけ方を工夫する。 ○箱を組み合わせてつくりたいものを考える ○箱を組み合わせてつくることをたのしむ。	○いろいろな紙箱を組み合わせることを通して、紙箱の形や色に気づいている。 ○紙箱の組み合わせ方や飾りつけ、接着の方法など、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	○紙箱の形や色などをもとに、つくりたいものと思いつき、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の作品を鑑賞したり、作品で遊んだりすることを通して、造形的な面白さやたのしさ、表し方のよさなどを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○箱を組み合わせることで、いろいろな形ができることに興味をもち、箱を組み合わせてつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
ようこそ あたらしい 1ねんせい	4	○友達と関わり合いながら自分の気持ちを伝える作品をつくって飾る。 ○形や色を工夫してつくったり飾ったりする。 ○見た人がたのしくなるようなもの考える。 心を込めてつくり、自分の気持ちを伝える。	○伝えたい気持ちを表すために、思いついたものを表すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色に気づいている。	○伝えたい気持ちから表したいことを見つけ、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の作品の造形的な面白さやたのしさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○つくりだす喜びを味わい、伝えたい気持ちを表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。

第1学年 体育		※「表現リズム遊び」「ゲーム(〇〇ゲームなど)」は運動例です。		
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準	
			知識・技能	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
体ほぐしの運動遊び	5	・みんなでいろいろな運動を行い、体を動かす楽しさや気持ちよさを味わう。	・体ほぐしの運動遊びの行い方がわかる。 ・手軽な運動遊びを行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己の心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすることができる。	・友達の感想や気付きを聞いたり、友達の動きを見たりして、できそうな運動遊びや友達と一緒に行うと楽しい運動遊びを考え、選んでいる。 ・いろいろな種類の用具の中から操作しやすい物を選んで選んだり、楽しく動くことができる場を考えて選んだりしている。 ・体を動かすときや汗が出ることなどの気付いたことを言葉で表したり、気持ちを表すカードなどを用いたりして、友達に
多様な動きをつくる運動遊び	16	・バランスをとったり、体を移動したり、物を使ったり、力を試したりしたいろいろな動きをして、その動きを工夫する。	・多様な動きをつくる運動遊びの行い方がわかる。 (ア)体のバランスをとる運動遊び 姿勢や方向、人数を変えて、回る、寝転ぶ、起きる、座る、立つなどの動きやバランスを保つ動きで構成される運動遊びを通して、体のバランスをとる動きを身に付けている。 (イ)体を移動する運動遊び 姿勢、速さ、リズム、方向などを変えて、這う、歩く、走る、跳ぶ、はねるなどの動きで構成される運動遊びや一定の速さでのかけ足などの運動遊びを通して、様々な行い方で体を移動する動きを身に付けることができる。 (ウ)用具を操作する運動遊び 用具をつかむ、持つ、降ろす、回す、転がす、くぐる、運ぶ、投げる、捕る、跳ぶ、用具に乗るなどの動きで構成される運動遊びを通して、用具を操作する動きを身に付けることができる。 (エ)力試しの運動遊び 人を押す、引く、運ぶ、支えるなどしたり、力比べをしたりするなどの動きで構成される運動遊びを通して、力を出きったり、力を入れたり緩めたりする力試しの動きを身に付けることができる。	・友達の感想や気付きを聞いたり、友達の動きを見たりして、できそうな運動遊びや友達と一緒に行うと楽しい運動遊びを考え、選んでいる。 ・いろいろな種類の用具の中から操作しやすい物を選んで選んだり、楽しく動くことができる場を考えて選んだりしている。 ・友達の動きを見て見付けたよい動きや、行ってみて楽しいと感じた運動遊びの行い方を友達に伝えている。 ・用具の大きさや種類を変えたり、様々なやり方を試したりして選んだ行い方を、動作を交えながら友達に伝えている。
固定施設遊び	2	・ジャングルジム、登り棒、肋木の遊び方を知って、いろいろな遊びを試してみる。	・固定施設を使った運動遊びの行い方がわかる。 ○ジャングルジムを使った運動遊び ・登り下り、渡り歩き、ぶら下がりなどを行うことができる。 ○登り棒を使った運動遊び ・登り下りや足抜き回りなどを行うことができる。 ○肋木を使った運動遊び ・登り下りや横移動、壁登り逆立ちなどを行うことができる。	・それぞれの固定施設を使って、楽しくできる場や自分の力に合った遊び方を考え、選んでいる。 ・友達のよい動きを擬態語や擬音語で表現したり、学習カードに書いていたりしている。
マット遊び	4	・マットを使っていろいろな遊びをする。	・マットを使った運動遊びの行い方がわかる。 ○ゆりかご、前転がり、だるま転がり、丸太転がりなど。 ・マットに背中や腹をつけて揺れたり、いろいろな方向に転がったりすることができる。 ○うさぎ跳び、かえるの足打ち、壁登り逆立ち、支持での川跳びなど。 ・手や背中などで体を支えているような姿勢で逆立ちしたり、移動したりすることができる。	・複数のコースでいろいろな方向に転がることができるような場を選んだり、動物に変身して行う運動遊びの中から動物の動きを選んだりしている。 ・友達のよい動きを擬態語や擬音語で表現したり、学習カードに書いていたりしている。
鉄棒遊び	4	・鉄棒の遊び方を知って、いろいろな遊びを試してみる。	・鉄棒を使った運動遊びの行い方がわかる。 ○ふとん干し、さる、だんごむし、ぶら下がりなど。 ・腹や膝、手でぶら下がったり、揺れたりすることができる。 ○つばめ ・体を伸ばし手で支えバランスをとって止まることができる。 ○前回り下り、足抜き回り ○跳び上がり、後ろ跳び下り ・跳び上がって支持して下りたり、支持の姿勢で体を揺らして後ろに跳び下りたりすることができる。 ・支持の姿勢から体を丸めて前に回って下りたり、両手でぶら下がって前後に足抜き回りをしたりすることができる。	・手や足、腹でぶら下がった姿勢でじゃんけんをしたり、支持して体を揺らして遠くへ跳ぶ競争をしたりするなど、自分の力に合った楽しくできる遊び方を考え、選んでいる。 ・友達のよい動きを擬態語や擬音語で表現したり、学習カードに書いていたりしている。

第1学年 体育

※「表現リズム遊び」「ゲーム(〇〇ゲームなど)」は運動例です。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
跳び箱遊び	5	・いろいろな跳び方で跳んだり、跳び方を工夫したりして楽しむ。	・跳び箱を使った運動遊びの行い方がわかる。 ○踏み越し跳び ・片足で踏み切って跳び箱に跳び乗ったり、ジャンプをして跳び下りたりすることができる。 ○支持でまたぎ乗り・またぎ下り、支持で跳び乗り・跳び下り ・数歩の助走から両足で踏み切り、跳び箱に両手を着いてまたぎ乗ったり、またいだ姿勢で手を支点に体重を移動させてまたぎ下りたりすることができる。 ・数歩の助走から両足で踏み切り、跳び箱に両手を着いて両足で跳び乗ったり、ジャンプをして跳び下りたりすることができる。 ○馬跳び、タイヤ跳び ・両手で支持してまたぎ越すことができる。	・跳び乗った後、手を叩いたり、回ったりなど自分の力に合った着地の仕方を考え、選んでいる。 ・友達のよい跳び方を擬態語や擬音語で表現したり、学習カードに書いたりしている。	・跳び箱遊びにすすんで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・跳び下りたりするときなどに、危ないものが無いか、近くに人がいないか、マットや跳び箱などの器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。
かけっこ	6	・いろいろなくねくねコースを作って走ったり、友達の作ったコースを走ったりする。	・くねくねコースを走るかけっこの行い方がわかる。 ・まっ直ぐなところや蛇行したところを調子よく走ることができる。 ・最後まで全力で走ることができる。	・直線や曲線、ジグザグなどいろいろなくねくね走のコースを工夫して作っている。 ・くねくね走の感想や走り方のポイント、友達のよい走り方を書いたり、発表したりして友達に伝えている。	・かけっこにすすんで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・走る場所に危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。
ハードルリレー	5	・いろいろなコースを作って走って跳び越したり、リレーをしたりする。	・ハードルリレーの行い方がわかる。 ・いろいろな間隔に並べられた低い障害物を走り越えることができる。 ・相手の手の平にタッチをして走ることができる。 ・低い障害物を置いた蛇行したコースやまっ直ぐなコースをバランスよく最後まで調子よく走り越すことができる。	・ハードルリレーのコースを工夫して作っている。 ・ハードルリレーの感想や走り方のポイント、友達のよい走り方や引き継ぎ方を書いたり、発表したりして友達に伝えている。	・ハードルリレーにすすんで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・走る場所に危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。
幅跳び遊び	5	・いろいろな川を作って跳んだり、跳び比べをしたりする。	・幅跳び遊びの行い方がわかる。 ・片足跳びや両足跳びでしっかり地面を蹴っているいろいろな川を連続して前方に跳ぶことができる。 ・助走を付けて片足でしっかり地面を蹴って前方に跳ぶことができる。	・幅跳び遊びのいろいろな場を工夫して作っている。 ・自分の力に合った跳ぶ場を選んでいる。 ・幅跳び遊びの感想や跳び方のポイント、友達のよい跳び方を書いたり、発表したりして友達に伝えている。	・幅跳び遊びにすすんで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・跳ぶ場所に危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの跳ぶ場所の安全に気を付けている。

第1学年 体育

※「表現リズム遊び」「ゲーム(〇〇ゲームなど)」は運動例です。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
水遊び	10	・約束を守って、いろいろな水遊びをする。	【水の中を移動する運動遊び】 ・水の中を移動する運動遊びの行い方がわかる。 ・胸まで水につかつか大きく息を吸ったり吐いたりすることができる。 ・水を手ですくって体のいろいろな部分にかけたり、いろいろな方向に飛ばしたり、友達と水をかけ合ったりすることができる。 ・カニ、ウサギ、ワニなど動物のまねをしながら歩いたり、腰や膝を伸ばした一直線の姿勢になり手を使って歩いたりすることができる。 ・水につかつかの電車ごっこや鬼遊びなどで、水の抵抗や浮力に負けないように、自由に歩いたり走ったり、方向を変えたりすることができる。 【もぐる・浮く運動遊び】 ・もぐる・浮く運動遊びの行い方がわかる。 ・水に顔をつけたり、もぐって目を開けたりすることができる。 ・水中で息を止めたり吐いたりしながらじゃんけんやにらめっこ、宝探しなどのもぐる遊びをすることができる。 ・浮力に負けないように、手や足を使っていろいろな姿勢でもぐるることができる。 ・壁や補助具につかまったり、友達に支えてもらったりしていろいろな姿勢で浮くことができる。 ・補助具や友達につかまり、体を伸ばした姿勢にして浮いて進むことができる。	・自分の力に合った水の中でできる動物の動きを選んだり、友達を選んだ動物の動きを取り入れたりしている。 ・試した動物の動きや、友達が行った動物のよい動きを伝えている。 ・楽しくできる水遊びの場や遊び方を工夫し、選んでいる。 ・友達の水中でのよい移動の仕方やもぐり方・浮き方を見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。	・水遊びにすすんで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・準備運動や整理運動をしっかり行う、丁寧にシャワーを浴びる、プールサイドは走らない、プールに飛び込まない、友達とぶつからないように動くなどの水遊びの心得を守っている。また、水遊びをする前には、体(爪、耳、鼻、頭髮等)を清潔にしている。
いろいろな鬼遊び	5	・逃げ方や捕まえ方を工夫して、いろいろな鬼遊びをする。	・鬼遊びの行い方がわかる。 ・相手(鬼)にタッチされないように、空いている場所を見付けて、速く走ったり、急に曲がったり、身をかわしたりすることができる。 ・相手(鬼)のいない場所に移動したり、駆け込んだりすることができる。 ・少人数で連携して相手(鬼)をかわしたり、走り抜けたりすることができる。 ・逃げる相手を追いかけてタッチしたり、マーク(タグなど)を取った	・楽しく鬼遊びをするための遊び方や規則の中から、自分の力に合った遊び方や規則を選んでいる。 ・少人数で連携して相手(鬼)をかわしたり、走り抜けたりする行い方について、動作や言葉で友	・鬼遊びにすすんで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。
ボール投げゲーム (的当てゲーム)	5	・ボールの投げ方や、的の狙い方を工夫して、ボール投げゲームをする。	・的に当てるボール投げゲームの行い方がわかる。 ・ねらったところにボールを投げて、的に当てたり得点したりすることができる。 ・ボールを手で捕ったり、手や足ではじいたりすることができる。 ・ボールが飛んでくるコースに入るることができる。 ・ボールを操作できる位置に動くことができる。	・楽しくボール投げゲームをするための規則の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 ・的に当てるためのボールの投げ方や攻め方を話し合って考えている。 ・友達が行っているよい動きを見付けて、友達に伝えている。 ・ボールを捕ったり止めたりすることやコースへの入り方など、自分で考えて行った工夫を、動作や言葉で友達に伝えている。	・ボール投げゲームにすすんで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。
ボール投げゲーム (ながれぼしゲーム)	5	・投げ方や攻め方を工夫してながれぼしゲームをする。	・ながれぼしゲームの行い方がわかる。 ・ポリ袋に入れたボールを相手コートにねらったところに投げて、得点することができる。 ・相手コートにボールを投げ入れたり、捕ったりすることができる。 ・ボールが飛んでくるコースに入るることができる。 ・ボールを操作できる位置に動くことができる。	・楽しくながれぼしゲームをするための規則の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 ・相手コートにボールを落とすための攻め方を話し合って考えている。 ・友達が行っているよい動きを見付けて、友達に伝えている。 ・ボールを投げたり捕ったりすることやコースへの入り方など、自分で考えて行った工夫を、動作や言葉で友達に伝えている。	・ながれぼしゲームにすすんで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。
ボール蹴りゲーム (的当てゲーム)	6	・蹴り方や攻め方を工夫して、的当てゲームをする。	・的に当てるボール蹴りゲームの行い方がわかる。 ・ねらったところにボールを蹴って、的に当てたり得点したりすることができる。 ・ボールを手や足で止めたりはじいたりすることができる。 ・ボールが飛んでくるコースに入るることができる。 ・ボールを操作できる位置に動くことができる。	・楽しくボール蹴りゲームをするための規則の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 ・的に当てるためのボールの蹴り方や攻め方を話し合って考えている。 ・友達が行っているよい動きを見付けて、友達に伝えている。 ・ボールを捕ったり止めたりすることやコースへの入り方など、自分で考えて行った工夫を、動作や言葉で友達に伝えている。	・ボール蹴りゲームにすすんで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。

第1学年 体育

※「表現リズム遊び」「ゲーム(〇〇ゲームなど)」は運動例です。

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ボール運び鬼	6	・走り方や攻め方を工夫して、ボール運び鬼をする。	・ボール運び鬼の行い方がわかる。 ・相手(鬼)にタグを取られないように、空いている場所を見付けて、速く走ったり、急に曲がったり、身をかわしたりすることができる。 ・相手(鬼)のいない場所に移動したり、駆け込んだりすることができる。 ・少人数で連携して相手(鬼)をかわしたり、走り抜けたりすることができる。 ・逃げる相手を追いかけてタグを取ることができる。	・楽しくボール運び鬼ができるための遊び方の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 ・タグを取られずに、ボールをゴールまで運ぶための攻め方を話し合っている。 ・少人数で連携して相手(鬼)をかわしたり、走り抜けたりする行い方について、動作や言葉で友達に伝えている。	・ボール運び鬼にすすんで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。
表現遊び・大好き！動物ランド	3	・いろいろな動物になりきって全身で楽しく踊る。	・表現遊びの行い方がわかる。 ・いろいろな動物の特徴や様子を具体的な動きでいくつか捉え、跳ぶ、回る、ねじる、這う、素早く走る、高・低の差や速さに変化のある動きなどの全身の動きで即興的に踊ることができる。 ・動きの中に「大変だ！〇〇だ！」など、急変する場面を入れて簡単な話にして続けて踊ることができる。	・いろいろな動物の特徴的な様子を捉え、表現したい動物の動きを選んでいる。 ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを発表などで友達に伝えている。	・表現遊びにすすんで取り組んでいる。 ・表現遊びに取り組む際に、誰とも仲よくしている。 ・場の設定や使った用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて踊っている。
表現遊び・いろいろなものに変身！	4	・いろいろなものに変身して全身で楽しく踊る。	・表現遊びの行い方がわかる。 ・いろいろな変身対象の特徴や様子を具体的な動きでいくつか捉え、跳ぶ、回る、ねじる、這う、素早く走る、高・低の差や速さに変化のある動きなどの全身の動きで即興的に踊ることができる。 ・動きの中に急変する場面を入れて、簡単な話にして続けて踊ることができる。	・動きで表せる変身対象の特徴的な様子を捉え、表現したい対象の動きを選んでいる。 ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを発表などで友達に伝えている。	・表現遊びにすすんで取り組んでいる。 ・表現遊びに取り組む際に、誰とも仲よくしている。 ・場の設定や使った用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて踊っている。
リズム遊び	4	・リズムに乗って弾んで踊ったり、友達と一緒に踊ったりする。	・リズム遊びの行い方がわかる。 ・へそ(体幹部)でリズムに乗って、スキップなどで弾む動きを中心に、ねじる、回る、移動するなどの動きを繰り返して即興的に踊ることができる。 ・ジェンカは、軽やかに体を弾ませながら踊ることができる。	・手をたたいたり、ジャンプしたりなどの動きを取り入れたりして工夫している。 ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを発表などで友達に伝えている。	・リズム遊びにすすんで取り組んでいる。 ・リズム遊びに取り組む際に、誰とも仲よくしている。 ・場の設定や使った用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて踊っている。

第1学年 特別活動

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学校って楽しいな	1	学級や学校の生活をより楽しく豊かなものにするため、他者の思いを受け止めながら、よりよい集会の内容や計画を考え、実践することができるようにする。	学級や学校の生活上の諸課題を話合いの進め方に沿って、自分の意見を発表したり、他者の意見をよく聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協力して実践している。	学級や学校における人間関係をよりよくし、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとしている。
もっとすてきな学級にしよう	2	学級活動がどのような学習なのかを知り、意欲的に活動できるように意識付けをする。	学級や学校の生活をよりよいものにするために、様々な場面で他者と協働して取り組むことの意義を理解している。	学級や学校の生活をよりよくするために、課題を見いだし、解決案を考えたりして、実践している。	学級や学校の生活をよりよいものにするために、問題に関心をもち、他者と協力して主体的に取り組もうとしている。
★楽しい運動会にしよう	3	運動会を通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	運動会を通して成長する上での課題を見いだし、課題の改善に取り組むことの意義を理解している。	運動会を通して成長する上での課題に気付き、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	運動会に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしたりしている。
雨の日の過ごし方	3	天候や学校の状況を踏まえた生活のしかたを考えたを通して、身を守り安全に生活したり行動したりすることができるようにする。	安全に日常生活を送るための課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解している。	安全に日常生活をおくる上での課題に気付き、他者の意見を聞きながら、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働しながら自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組もうとしている。
1学期はどうでしたか (楽しい夏休みにしよう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見いだし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
2学期のめあてを決めよう (楽しい夏休みでしたか)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見いだし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
★楽しい篠三まつりにしよう	3	篠三まつりを通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	篠三まつりを通して成長する上での課題を見いだし、課題の改善に取り組むことの意義を理解している。	篠三まつりを通して成長する上での課題に気付き、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	篠三まつりにかけて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしたりしている。
★楽しい学習発表会にしよう	6	学習発表会を通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	学習発表会を通して成長する上での課題を見いだし、課題の改善に取り組むことの意義を理解している。	学習発表会を通して成長する上での課題に気付き、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	学習発表会に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしたりしている。
2学期のめあてを振り返る (楽しい冬休みにしよう)	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見いだし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
3学期のめあてを決めよう (楽しい冬休みでしたか)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見いだし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
寒さに負けず元気に過ごそう	3	天候や学校の状況を踏まえた生活のしかたを考えることを通して、身を守り安全に生活したり行動したりすることができるようにする。	安全に日常生活を送るための課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解している。	安全に日常生活をおくる上での課題に気付き、他者の意見を聞きながら、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働しながら自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組もうとしている。
もうすぐ2年生 (楽しい春休みにしよう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常生活をよりよくしようとする。次の学年への意識を高めようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見いだし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。

第1学年 読書科

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
としょかんへいこう いきもののことをしらせよう むかしばなしをよもう	12	○図書館の簡単な使い方を知る。 ○読書を通して、生き物に興味をもち、意欲的に本を読むことができる。 ○いろいろな昔話を読む。	○図書室の使い方や過ごし方を身に付けている。 ○自分が読みたい生き物の本をタイトルなどから探している。 ○興味をもって読み聞かせを聞いたり好きな本を読んだりしている。	○生活の中から自分が調べたい生き物を見つけている。 ○本で調べたことからクイズを考え、分かりやすく伝えられている。	○図書室の使い方が分かり、すすんで本を読もうとしている。 ○すすんで本を読み、調べようとしている。 ○生き物について分かったことを楽しんで伝えようとしている。
いきものはかせになろう のりものがでてくるほんをよもう のりものはかせになろう	15	○生き物のすごいところを見つけ、知らせることができる。 ○一番知りたい疑問を調べる、分かったことをリーフレットにまとめることができる。 ○自分が調べた乗り物について知らせることができる。	○生き物のすごいところを見つけて付箋を貼ったり、カードに書きだしたりしている。	○生き物のすごいところが伝わるように、画用紙にまとめ、自分の感想を交えて友達に伝えている。 ○本で調べたことや自分の考えを分かりやすく伝えられている。	○すすんで本を読み、調べようとしている。 ○生き物に関する疑問について、主体的に学んでいこうとしている。 ○乗り物の本をすすんで読もうとしている。
どうぶつのあかちゃんをしらべよう 昔話の本や動物の出てくる本を読み、友達に紹介しよう	8	○一年間の読書を振り返り、一番心に残った本を選ぶことができる。 ○その本の中で一番心に残った場面を選ぶことができる。 ○登場人物や簡単なあらすじをまとめ、発表することができる。	○読んだ本を読書記録ノートに記録している。	○一番心に残った場面にふさわしいタイトルを考えている。 ○登場人物やあらすじをまとめ、友達に伝えている。	○すすんで本を読み、本の良さを伝えようとしている。